Heartful KONAGAI

小長井伝承

小長井町閉町記念誌

伝えたい記憶、残したい風景。

長崎県小長井町

小長井伝承◎小長井町閉町記念誌
伝えたい記憶、残したい風景。
長崎県小長井町

Heartful KONAGAI

小長井伝承

小長井町閉町記念誌

伝えたい記憶、残したい風景。

目 次

ごあいさつ・小長井町の沿革 2
小長井の歩み 4
【町制施行前史】
【小長井町39年史】
歴代村長町長 48
歴代議会議長 50
議会・行政 51
広報で見るふるさと小長井 52
山茶花高原フォトコンテスト作品集 60
町民憲章
写真提供者一覧

KONAGAI

長崎県小長井町

発刊にあたって

小長井町は、長崎県と佐賀県の県境に位置する風光明媚な町です。前は不知火燃ゆる有明海を経て秀峰雲仙岳を望み、背後には霊峰多良山系連山がそびえ、温暖な気候と南斜面の肥沃な土地条件に恵まれた環境の中にあります。

この地には幾多の遺跡が存在し、古代から人が住み生活を営んでいたことが立証されています。

時代の変遷の中、先人たちは不断の努力と情熱を注ぎ、数々の苦難を乗り越えて、この地に尊い血や汗を染みこませてきました。

明治22年4月、町村制施行により誕生した小長井村は、77年間の長い年月の中で戦前戦後の激動の世相を歩み続け、昭和41年11月、町制施行により小長井町に姿を変え、その後39年間の歳月をかけ発展を重ねてきました。

そして平成17年3月、時代の要請と更なる発展を目指して、小長井は116年の歴史を礎に、県央都市諫早市として、新たな歴史を刻んでいくこととなりました。

私は、小長井町最後の町長として、その重責を担わせていただき、歴史的な瞬間に立ち合うことができたことを誇りに存じております。

これまで、町民の皆さまをはじめ、議会や関係各位に多大なるご支援とご協力を賜りました。そして、この職責を全うすることができましたことに対し、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

この合併が、地方分権の推進、少子高齢化、高度情報化、安定的行財政基盤の確立等、これからの社会に対応した理想的な自治体を創り、更に豊かで活力のある地域づくりへと発展していくことを心から祈念して、小長井町を閉じるにあたってのあいさつといたします。

平成十七年二月一日

小長井町長　山下　勝紀

伝えたい記憶、残したい風景。

◎小長井町の沿革

小長井町はもともと諫早藩の所領で、遠竹村、井崎村、小川原浦村、田原村、長里村の５か村に分かれていました。明治12年、小川原浦村、長里村、井崎村の３か村となり、明治22年の町村制施行により３か村が合併し、その頭文字をとって小長井村が誕生。昭和41年11月１日町制を施行し小長井町に。平成17年３月、県央地区１市５町の合併により新「諫早市」が誕生し、小長井は116年の歴史に幕を降ろします。

◎位　置

●東　経／130°7′29″～130°12′4″

●北　緯／32°54′10″～32°57′16″

●東　西／約６㎞　南北／約7.5㎞

●総面積／30.93㎢

小長井町は長崎県北高来郡の北東部に位置し、西側は高来町に、東側は佐賀県藤津郡太良町に隣接し、南側は有明海に面しています。

◎地　勢

西北に多良連山を抱き、南の有明海へ扇状に展開している小長井町は、東西６㎞、南北7.5㎞、海岸線を底辺とする二等辺三角形をなしています。土地は西北に高く、次第に東南に傾き、長里川など主要河川が渓谷をなして有明海に注ぎ、その河川を中心に水田を形成。多良岳よりスロープを描く丘陵地帯には畑地が展開しています。海岸線に沿ってJR長崎本線が走り、これに並行して国道207号が通じ、交通の便は比較的恵まれており、集落は各河川の沿岸や国道近くから発展。ほとんどは各地域に散在し、整備された道路で連絡しています。

◎地　質

地質は火成岩で、新世紀の頃、阿蘇火山脈に属する多良岳の活動によって生じた安山岩層の新火成岩。面積30.93㎢のうち長里、築切などの干拓地を除くと平地には恵まれていません。

小長井開町記念誌◎特集ページ

伝えたい記憶、残したい風景。

明治二十二年の三村合併により
「小長井」が誕生して百十六年。
そして、村制から町制へ。
その変動のあゆみを、
時系列に沿って、産業・文化・伝統
観光・福祉・教育・交通・生活・行政など、
小長井の歴史を振り返ります。

小長井の歩み
HISTORY of Heartful KONAGAI

昭和17年（1942）7月、村立小長井国民学校初等科六年男子

明治22年~大正15年

1889~1925

小長井村の発足

遠竹村・井崎村・小川原浦村・田原村・長里村の5ヶ村が、明治維新の廃藩置県以降、明治12年に遠竹村と井崎村が合併し井崎村に、小川原浦村と田原村が合併して小川原浦村となり3村になった。
明治22年、町村制が実施され3村の頭文字を取り小長井村が誕生した。

【オガタマノキ】（国指定天然記念物）

JR長里駅から長里川に沿ってさかのぼること約2・5㎞。川内の集落を通りすぎて坂を上った所に、道路にかぶさるように大きく枝を広げた一本の巨木がある。これが、昭和26年に国の指定をうけた天然記念物で、町制20周年を記念して小長井町の木に制定されたオガタマノキである。

オガタマは、招霊（おぎたま）が転化したものといわれ、神前に供えて神を招くというので、神社などによく植栽されている。

花は2月下旬~3月初めまでが見頃で秋にはごつごつした形の殻をもった果が熟し、裂けた部分から赤い種子がのぞいてくる。この頃これを振るとシャラシャラと音がするので、神楽の舞いに使われる鈴の源は、この実ではないかという説もある。

樹高20㍍、幹の周りが9・1㍍、樹齢1000年以上で、「オガタマノキとしては日本一の巨樹で、もちろん自生と思われる。」と紹介されている。

明治22年（1889）
- 小川原浦村と長里村と井崎村が合併して小長井村となる。

明治25年（1892）
- 村役場を井崎から小川原浦に移す

明治29年（1896）
- 小長井巡査派出所設置

明治31年（1898）
- 戸籍役場施行（戸籍制度改革）

明治32年（1899）
- 郡制改革（郡会選挙が直接選挙に改められた）
- 崎原小学校・長里小学校の2校が統合し小長井尋常小学校創立。長里小学校分校・遠竹小学校分校となる。
- 学制改革尋常科4年、高等科4年
- 田川九郎助翁校舎建築費として壱千円寄贈
- 大西鶴吉氏石搬出用スラ作成

明治34年（1901）
- 長里尋常小学校と改称し独立校となる。
- 遠竹尋常小学校と改称し独立校となる。

明治40年（1907）
- 船津港に防波堤建設

1889年 ■大日本帝国憲法発布
1890年 ■府県制郡制公布
■第1回衆議院議員選挙、県下6区で定数7人
1894年 ■日清戦争はじまる
1897年 ■金本位制施行
1898年 ■長崎県尋常師範学校を長崎県師範学校と改める。
1899年 ■長崎市内に電話開通する。
1900年 ■治安警察法公布
■東京株式市場大暴落金融恐慌
1901年 ■第五高等学校医学部が独立し長崎医学専門学校となる。
1902年 ■佐世保市誕生
1904年 ■日露戦争はじまる。

伝えたい記憶、残したい風景。

遠いむかしから、そしてこれからも小長井の発展を見守り続けています。

【長戸鬼塚古墳（ながとおにつか）】（県指定史跡）

多良山系から有明海に伸びた標高約10ｍの低い丘陵の先端近くに立地している。ＪＲ長崎本線小長井駅から南西に徒歩で約15分の所にある。

形状は円墳で、墳丘の直径約15ｍ、高さ約5ｍ、南東方向に開口する複室の両袖式横穴式石室となっている。

本古墳の築造は、古墳時代後期（6世紀前半）とされ、線刻画を有する装飾古墳として古くから知られていた。これらの線刻画は、船・鯨などの形象的な文様と鋸歯（きょし）文などの抽象的な文様である。特に船と鯨とわかる線刻画は、有明海で古代人が捕鯨を行っていたことを証明したもので、日本の捕鯨史にとっても注目されるところである。

装飾古墳は、県内には本古墳を含めて5例しか知られておらず、古墳そのものの研究はもとより、当時の生活の一面を知るうえで、貴重な古墳である。

明治41年（1908）
- 小学校令改正、義務制実施
- 尋常科6年・高等科2年

明治42年（1919）
- 小長井郵便局設置

明治44年（1911）
- 町村制改正
- 田川九郎助翁頌徳碑建立

大正4年（1915）
- 木下吉之亟氏による茶屋、山ノ神溜池建設清水、天堤、長坂、木裏木、立石等開拓

大正5年（1916）
- 小長井村青年団結成

大正6年（1917）
- 小長井尋常高等小学校々舎増築
- 諫早新橋～井崎間に乗合自動車運行

大正8年（1919）
- 小長井尋常高等小学校運動場拡張

大正9年（1920）
- 県道諫早～鹿島線開通
- 小長井駐在所に直接電話架設

大正13年（1924）
- 小長井郵便局電信業務開始

大正15年（1926）
- 地方官制全面改革（郡長・郡役所廃止）
- 方面委員設置（現民生委員）
- 長里駐在所設置
- 青年訓練所認定小長井実業補習学校設置

当時の出来事

1905年
- 長崎新聞発刊
- 日本海海戦
- ポーツマス条約調印

1906年
- 九州鉄道門司～長崎間に急行運行

1907年
- 県立農学校を諫早村に設立

1910年
- 九州地方大豪雨、諫早、島原地方大被害

1912年
- 明治天皇崩御、大正と改元

1913年
- 島原鉄道本諫早～島原港間開通

1914年
- 第一次大戦始まる
- 大暴風雨・高潮

1915年
- 東京株式大暴騰、成り金続出

1917年
- 大阪株式相場暴落
- 金輸出禁止
- ソビエト政府成立（ロシア10月革命）

1920年
- 第1回国勢調査（本県人口113万6182人）

1922年
- 島原半島南部に激震 死者26人 家屋全半壊2千余戸

1923年
- 関東大震災
- 長崎医科大学開校

1926年
- 日見国道トンネル開通
- 大正天皇崩御、昭和と改元

1927年
- 金融恐慌起る
- 第1回普通選挙

昭和元年~11年

1926~1936

大正15年地方官制が全面改正され、郡長・郡役所が廃止される。
大正天皇が崩御され昭和の時代へ。わずか1週間の昭和元年となる。昭和2年に金融恐慌、昭和4年に世界恐慌、昭和6年に満州事変が勃発し、世の中は次第に戦時体制へと進んでいく。

▲昭和初期の目島全景

船津の波止場～井崎集落

あの頃―そして今

小長井今昔写真

[写真上]昭和２年(1927)井崎船津波止場付近
[写真下]平成16年(2004)

◀昭和２年(1927)
着工前の山ノ神溜池付近

▲昭和３年(1938)小長井村消防組第壱部発会式記念

伝えたい記憶、残したい風景。

▲昭和９年(1934)小長井村旧庁舎落成記念の余興に出演した牧主婦会

▲昭和10年(1935)遠竹本村公民館(民家を購入し移転改築)

◀昭和４年(1929)
木下吉之亟氏
71歳にて長逝

昭和３年（１９２８）
- 牧部落に消防組を組織

昭和５年（１９３０）
- 発動機付き漁船が小長井に登場

昭和７年（１９３２）
- 小長井村消防組発足

昭和８年（１９３３）
- 黒仁田溜池完工

昭和９年（１９３４）
- 小長井村信用購買販売利用組合創設
- 役場に加入電話官庁用小長井一番新設
- 国鉄長崎本線開通小長井駅開業

◀吉之亟公園より雲仙を望む（ほ場整備前）

◀（ほ場整備後）

当時の出来事

- １９２９年 ■世界大恐慌起こる
- １９３０年 ■昭和恐慌激化
- １９３１年 ■満州事変起こる
- １９３３年 ■日本映画トーキー化開始
- ■ＮＨＫ長崎放送局ＪＯＡＧ開局
- １９３４年 ■雲仙国立公園に指定
- ■国際産業観光博覧会を開催（長崎市）
- １９３６年 ■二・二六事件

昭和12年~20年

1937~1945

昭和12年の支那事変によって、国民生活の中に戦時体制が取り入れられるようになった。国民精神総動員運動が展開され、国民精神の高揚、科学教育の振興、勤労作業、団体訓練の重視が叫ばれた。

▲昭和13年（1938）頃の目島神社

昭和16年4月、国民学校令が発布され、小学校が国民学校に改称された。

同年12月には太平洋戦争に突入し、この時局に至っては、学生生徒も学業に専念することが許されぬ状態となった。

中等学校の生徒も学徒勤労動員令により軍需工場等に配置され、女子学徒も挺身隊として工場や施設に動員された。

宣戦の詔書が下された8日は大詔奉戴日と定められ、毎月8日には戦時体制への国民の動員強化が図られた。

学校では、戦争を勝ち抜く決意を新たにするために、神社参拝や団体訓練、出征軍人家族慰問などをして詔書が奉読された。

◀昭和13年（1938）頃の淀姫神社

▲昭和13年（1938）頃の長里阿蘇神社

伝えたい記憶、残したい風景。

▲昭和14年（1939）小長井尋常高等小学校の二宮金次郎碑除幕式

▲昭和15年（1940）阿弥陀崎より釜海岸を望む

▲昭和15年（1940）当時の村長　古賀鼎三氏

昭和12年（1937）
- 小長井尋常高等小学校家事・裁縫室完成

昭和14年（1939）
- 諫早～小長井間西肥バス運行

昭和16年（1941）
- 潜水機による漁業開始
- 国民学校令施行・各小学校々名変更

昭和18年（1943）
- 西肥バスに代わり県営バス運行

▲昭和16年（1941）頃の兎島

当時の出来事

- 1937年 日中戦争始まる
- 1938年 国家総動員法公布
- 1939年 第二次世界大戦始まる
- 1940年 島原市誕生
- 1941年 米麦配給切符制
- 1942年 諫早市誕生
- 1945年 太平洋戦争始まる
- 大村市誕生
- 関門トンネル開通
- 長崎市へ原爆投下
- ポツダム宣言受諾

昭和21年~30年

1946~1955

昭和21年11月3日、日本国憲法公布、翌年5月3日から施行された。
昭和22年に地方自治法が制定。住民参政権が拡充され、地方公共団体の自主性が強化確保されていく。
これに基づき、小長井村においても選挙管理委員会が設置され、住民の直接選挙による村長（町長）、議会議員の公選が執行されるようになった。

▲昭和25年（1950）旧国道側の帆崎橋が開通

釜公民館

あの頃―そして今

小長井今昔写真

[写真上] 昭和25年（1950）新築落成した釜公民館
[写真下] 平成12年（2000）移転新築となった釜コミュニティセンター

▲昭和28年（1953）第１回小長井村婦人学級修了記念写真

◀昭和29年（1954）新築落成された足角公民館

伝えたい記憶、残したい風景。

▲昭和30年代の交通安全パレード（現在の文化ホール前広場にて）

▲昭和26年（1951）秋、線路上から見た田代の海岸（風景画）

昭和22年（1947）
- 地方自治法制定（選挙管理委員会設置）
- 学制改革6・3制実施
- 各国民学校は校名を小学校と改称
- 小長井村警防団を小長井村消防団に改称
- 聖母の騎士園開設

昭和23年（1948）
- 小長井村農業共済組合設立
- 小長井自興開拓組合発足
- 小長井村農業協同組合に改称。長里・遠竹が独立
- 中学校第1校舎落成
- 清水地区開拓入植開始

昭和24年（1949）
- 小長井小学校田原分校発足
- 小長井漁業協同組合設立
- みさかえの園開設

昭和25年（1950）
- 青年学級開設
- 小長井局電話交換業務開始（加入者25名）

昭和26年（1951）
- 小長井村中央公民館発足
- 役場2階に併置
- 農業委員会発足（第1回農業委員会選挙）
- 部落長制を駐在員制に改める
- 中学校第2・第3校舎落成
- おがたまの木が国指定天然記念物となる

昭和27年（1952）
- 婦人学級開設
- 小長井村教育委員会発足

昭和28年（1953）
- 聖母の騎士園小・中学校開校

昭和29年（1954）
- 遠竹小学校々舎落成

昭和30年（1955）
- 小長井村体育協会発足
- 中学校特別教室完成

当時の出来事

1946年
- 日本国憲法公布

1947年
- 国家公務員法公布

1949年
- 湯川秀樹博士ノーベル賞受賞
- 新制長崎大学設置（医学・経済・薬学・学芸・水産の5学部）

1950年
- 活水・純心・長崎外語・県立女子・長崎造船の各大学発足

1951年
- 多良岳県立公園に指定
- 警察予備隊針尾駐屯地開始
- サンフランシスコ平和条約・日米安保条約調印

1952年
- 長崎大干拓事業の調査開始

1953年
- NHKテレビ放送開始
- 長崎県庁舎落成

1954年
- オランダのヤンセン教授、長崎干拓調査のため来崎

1955年
- 西海橋完工
- 長崎市平和祈念像完成

昭和31年~40年

1956~1965

昭和32年7月25日、諫早大水害が発生。小長井においても濃緑の青田が一夜にして泥海と化し、村民に大衝撃を与えた。
県内外や国境を越えた援助を受け、昭和35年度末に復旧工事が完成したが、昭和36年、翌37年に再度大水害の試練を受けた。

▲昭和32年(1957)大水害が発生し、米軍ヘリにより井崎海岸に救援物資が届けられた

聖母の騎士園

「あの頃―そして今」
小長井今昔写真

[写真上]昭和23年(1948)発足、聖母の騎士園
[写真下]平成16年(2004)

◀昭和34年(1959)
ふたば保育園を開設

▲昭和34年(1959)みさかえの園創立10周年記念式典

伝えたい記憶、残したい風景。

▲昭和36年（1961）田原線にバスが運行を開始

昭和31年（1956）
- 中学校運動場拡張工事完成

昭和32年（1957）
- 諫早大水害死者不明815人

昭和33年（1958）
- 小長井自興開拓組合が小長井開拓農業協同組合として発足
- 小長井村公民館報第1号発刊

昭和34年（1959）
- 国民健康保険事業開始、保健婦採用
- 駐在員制を班長制に改める
- 田原小学校独立
- ふたば保育園開設

昭和35年（1960）
- 小長井村商工会発足

昭和36年（1961）
- 小長井村殉国慰霊碑建立
- 県の果樹集団産地指定を受ける
- 清和保育園開設
- 田原線バス運行認可

昭和37年（1962）
- 小長井小学校鉄筋6教室完成

昭和38年（1963）
- 小長井大水害、村全域に多大の被害を受けた被害総額9億4300万円
- 交通安全母の会発足

昭和39年（1964）
- 遠竹保育園開設
- 子ども会発足
- 東京オリンピック聖火リレー隊編成

昭和40年（1965）
- 家庭教育学級発足
- 小長井・長里・遠竹の3農協合併
- 小長井村農業協同組合発足
- 秩父宮妃殿下行啓（みさかえの園）

▲昭和39年（1964）オリンピックの聖火リレーが小長井村青年団チームに点火

▲昭和40年（1965）秩父宮妃殿下がみさかえの園にご来園

当時の出来事

1956年
- 国連加盟
- 対馬万関橋完成
- 雲仙・天草国立公園となる

1957年
- 諫早大水害

1958年
- 関門国道トンネル開通

1959年
- 皇太子殿下ご結婚
- 伊勢湾台風、東海地方大被害

1960年
- 日米新安保条約調印

1961年
- 農業基本法公布
- 天皇・皇后両陛下県内ご旅行
- 県総合農林センター本館完成

1962年
- 福江市大火焼失480戸
- キューバ危機

1963年
- ケネディ米大統領暗殺

1964年
- 東海道新幹線開通
- 東京オリンピック開催

昭和41年

1966

昭和41年11月1日、町制を施行。
明治22年4月から
明治・大正・昭和の77年の年月を経た小長井村は、
小長井町へと生まれ変わり
新たな歴史を刻みはじめる。

▲自治功労表彰をする初代町長の古賀徳郎氏

【式辞より抜粋】

本日当町役場の新築落成と町制施行並びに災害復興祭と三重の記念式典を挙行できますことはこのうえない喜びであります。これもひとえに、国・県ご当局をはじめ、各関係機関と全町民の支援ご協力の賜でありまして衷心より感謝とお礼を申し上げます。

今までの役場は老朽化し、その上狭隘でありましたので昭和30年頃より新庁舎の建築が希望されておりましたが、時あたかも農業の転換期に当たっておりましたので、基幹産業である柑橘、畜産の振興に町を挙げて努力を続けて参ったのであります。

また、32年の大水害、36年、37年の水害によりまして物心両面に大きな打撃を受け、議会議場は災害の設計及び事務に提供し、議会は16畳の宿直室で開会してきたのであります。

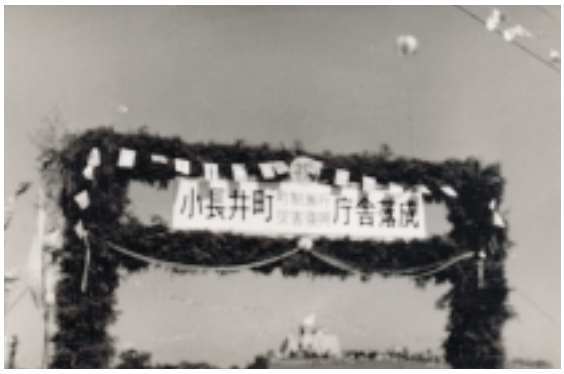
40年に至りまして、災害復旧事業も完成し、長崎干拓事業も着工が決定いたしましたので、2ケ年継続にて新庁舎の建築に着工いたしたのであります。

41年には国道207号線も建設省の直轄事業となり、都市的業態も愈々活発化することになりましたので町制を施行することになったのであります。（後略）

▲婦人たちの踊り

▲井崎浮立ハサンバコ

伝えたい記憶、残したい風景。



▲建設中の役場庁舎

昭和41年（1966）

- 町制施行　初代町長に古賀徳郎氏就任
- 町章制定
- 町制施行記念祝賀式典挙行、庁舎落成

▲町制施行記念式典と役場庁舎落成の祝賀風景

当時の出来事

1966年

- 長崎県の木・花・鳥・獣を定める
- NHK・NBCカラーテレビ放送開始
- ビートルズ来日

昭和42年~43年

1967~1968

助役の吉川敏隆氏が無投票で町長に当選。「健康で明るい豊かな町づくり」を目標に町政を推進。
6月定例議会で収入役の原田幸雄氏が助役、総務課長の石丸一喜氏が収入役に就任。

▲昭和42年(1967)農林漁業開畑資金で開かれた井崎地区のみかん園

▲吉川町長就任

小長井警察官駐在所

「あの頃―そして今」小長井今昔写真

[写真上]昭和43年(1968)小長井駐在所
[写真下]平成7年(1995)移転新築

▲昭和42年(1967)繭出荷作業をする婦人会のみなさん

◀昭和42年(1967)井崎保育園が落成し開園

伝えたい記憶、残したい風景。

▲昭和43年（1968）大雪による積雪が広川良では２ｍにも達した

▲昭和42年（1967）清水婦人ホームが新築落成

▲昭和42年（1967）長里駐在所が国道沿いに新築移転

昭和42年（1967）
- 2代町長に吉川敏隆氏初当選
- 農業構造改善事業実施認定
- 社会福祉法人井崎保育園開設される
- 小長井中学校特別教室完成

昭和43年（1968）
- 小長井中学校体育館着工
- 小長井町長崎国体県民運動推進協議会発足

当時の出来事

1967年
- 長崎バイパス開通
- 県下全域大干ばつ
- 県立国際経済大学開学

1968年
- 米原子力空母「エンタープライズ」入港
- 三億円事件
- 十勝沖地震

天皇皇后両陛下ご臨席のもと第24回国民体育大会が開催される。10月、両陛下を乗せたお召し列車が、小長井駅に特別停車。
11月には、皇太子殿下が来町。

▲みさかえの園で園児をはげまされる皇太子殿下

皇太子殿下は、第5回全国身体障害者スポーツ大会にご臨席された後、県内最後のご訪問地として小長井町にご来町されました。

小長井駅では、特別奉迎者や小長井小学校鼓笛隊、多数の町民の歓迎に殿下はにこやかに会釈されました。

休憩所となった役場の広場でも多くの町民がお出迎えし、その歓迎に手を振ってお応えになりました。

昼食の時間には、有明海産の「ハゼ」「ムツゴロウ」の献上品に特に関心を示されました。

その後、沿道で手を振る町民に送られ、みさかえの園に向かわれました。同園では中山和子園長の案内で、病室の様子や体育館での園児の遊戯、手芸品などを熱心にご覧になりました。

◀休憩所となった役場で皇太子殿下を奉迎

▲お召列車が小長井駅に停車、天皇・皇后両陛下の来崎を町民が歓迎

伝えたい記憶、残したい風景。

▲第24回長崎国体開会式（山茶花溜池の湖畔が山岳競技の幕営地となる）

▲幕営地のお世話をされた婦人会のみなさん

◀役場前を継走する炬火リレー

▲炬火に点火する吉川町長

昭和44年（1969）

- 交通指導員制度発足、県下初の交通指導車購入
- 農村集団電話通話開始（普及率62％）
- 第24回国民体育大会秋季大会開催
- 皇太子殿下行啓
- 中学校体育館完成

▲古賀トヱ女史の頌徳碑を井崎保育所に建立

▲昭和44年（1969）に完成した中学校体育館

当時の出来事

1969年

- 第24回国民体育大会
- アポロ11号月面着陸
- 五百円札発行
- 日本初の現金自動支払機設置

昭和45年~47年

1970~1972

46年、小長井小学校統合校舎第1期工事が完成。田原小学校は22年間の歴史に幕を閉じ、児童たちは「さざんか号」で小長井小学校へ通学。同年、町民グラウンドの埋立工事に着工。47年、遠竹小学校体育館が完成。

▲昭和46年(1971)小長井町中央部付近の航空写真

小深井港から多良岳を望む

「あの頃―そして今」
小長井今昔写真

[写真上]昭和40年頃の小深井港
[写真下]平成16年(2004)

◀昭和45年(1970)竣工、帆崎橋着工の頃

▶昭和46年(1971)小長井小学校の開校式

伝えたい記憶、残したい風景。

▲昭和47年（1972）長崎県総合防災訓練が井崎の兎島海岸で実施される

▶昭和46年（1971）さざんか号が広川良～田原～小長井小間の運行開始

▶昭和47年（1972）遠竹小学校の体育館が完成

昭和45年（1970）
- 小長井小学校・田原小学校統合に同意
- 県央地域広域市町村圏域の指定を受ける

昭和46年（1971）
- 小長井小田原校舎閉校、スクールバス運行開始
- 小長井町基本構想策定
- 県央地域広域市町村圏組合発足（2市10町）
- 3代町長に吉川敏隆氏2選
- 北高農業協同組合設立される（小長井、宇良、湯江、小江、深海の各農協が合併）
- 小長井小学校統合校舎落成

昭和47年（1972）
- 遠竹小学校体育館完成
- 樫原中学校創立される（聖母の騎士園）
- 県央組合、常備消防及び救急業務開始
- 県総合防災訓練兎島海岸で実施される
- 簡易水道拡張事業着工（井崎、築切、長戸地区）
- 電話自動化による即時通話開始（普及率81％）

当時の出来事

1970年
- 日本万国博開催
- 赤軍派日航機「よど号」乗っ取り
- 東京都で歩行者天国始まる

1971年
- 円変動相場制
- 円切り上げ1ドル308円
- ネズミ講に強制捜査
- カップヌードル発表

1972年
- 札幌冬期オリンピック開催
- 沖縄県発足
- 連合赤軍浅間山荘事件
- グアムで横井さん救出

昭和48年~50年

1973~1975

町民グラウンドをはじめ、長里小学校、町民プール、小長井小学校体育館、町民センターが完成。公共施設の整備拡充が図られる。

▲昭和48年(1973)新装の町民グラウンドで、第15回町民体育祭開催

田原集落

「あの頃―そして今」
小長井今昔写真

[写真上]昭和50年(1975)頃田原城山付近
[写真下]平成16年(2004)

▲昭和48年(1973)
町民プールが完成

伝えたい記憶、残したい風景。

▲昭和50年（1975）昔のもちつき

◀昭和50年（1975）町民センターがオープン

◀昭和48年（1973）長里小学校の新校舎が完成

昭和48年（1973）
- 町民グラウンド完成
- 長里小学校校舎改築工事完成
- 町民プール完成
- 広域農道新設事業認可受ける
- 簡易水道拡張事業完成（井崎、築切、長戸地区）
- 第1回小長井町青年祭開催

昭和49年（1974）
- 黒仁田地区養豚団地完成
- 農村地域工業導入促進法による実施計画の策定
- 山茶花溜池補修工事完了

昭和50年（1975）
- 地籍調査事業開始
- 4代町長に吉川敏隆氏3選
- 町民センター完成
- 社会福祉法人小長井町社会福祉協議会発足
- 小長井カントリークラブオープン
- みさかえの園創立25周年記念式典

当時の出来事

1973年
- 関門橋開通
- 金大中事件
- 石油ショック
- トイレットペーパー買い占め騒ぎ

1974年
- 端島炭鉱閉山
- 元日本兵小野田さん救出

1975年
- 長崎空港開港
- 沖縄海洋博開く
- エリザベス英女王来日
- ベトナム戦争終結

▶昭和50年（1975）第2回子ども会ソフトボール大会

昭和51年
1976

小長井大橋が完成し、
国道207号線の開通式が行われた。
この年、小長井町は
町制施行から10周年を迎えた。

▲小長井大橋（全長304m）が完成

国道207号線

「あの頃―そして今」
小長井今昔写真

[写真上] 昭和44年（1969）頃国道207号線谷角付近
[写真下] 平成16年（2004）

▶国道207号線開通式で
小長井大橋の渡り初め

伝えたい記憶、残したい風景。

▲皇太子殿下ご奉迎と町制施行10周年の記念碑を建立

▲皇太子殿下、美智子妃殿下がみさかえの園をご訪問

▲町制施行10周年の記念式典

昭和51年（1976）

- 農免農道新設事業認可
- 小長井大橋完成、国道207号線全線開通
- 皇太子殿下行啓と町制10周年記念碑完成
- 町制施行10周年記念、町民センター完成記念式典
- 皇太子殿下、美智子妃殿下行啓

▲昭和51年（1976）久保県知事を来賓に迎える（左から吉川町長、久保県知事）

井崎まっこみ浮立を披露▶

当時の出来事

1976年

- 対馬空港開港
- ロッキード事件
- 五つ子誕生
- 宅急便開始

昭和52年~60年

1977~1985

58年、吉川町長が5期連続の無投票当選。この間に各地区の簡易水道事業や町全域の地籍調査事業を実施。校舎、体育館、プール、給食センターなど学校・教育施設も更に拡充。

▲昭和54年(1979)小長井中学校の新校舎が完成

小長井中学校

「あの頃―そして今」小長井今昔写真

[写真上]昭和50年(1975)頃の中学校
[写真下]平成16年(2004)

▲昭和57年(1982)遠竹小学校の旧校舎にみんなでお別れ

伝えたい記憶、残したい風景。

▲昭和59年（1984）町営住宅井崎団地が完成（59年10戸、60年８戸）

昭和52年（1977）
- 井崎まっこみ浮立が県の無形文化財に指定される
- 簡易水道布設（牧・新田原地区）

昭和53年（1978）
- 県営バス・祐徳バス（諫早～鹿島）相互乗入れ開始

昭和54年（1979）
- 小長井中学校新校舎完成
- 5代町長に吉川敏隆氏4選

昭和55年（1980）
- 清水地区飼料基盤整備完成
- ベトナム難民を聖母の騎士修道女会に収容（125人）

昭和56年（1981）
- 船川地区農道完成
- みさかえ養護学校開校される
- 小長井町文化協会発足

▲昭和57年（1982）遠竹小学校新校舎が完成

昭和57年（1982）
- 遠竹小学校新校舎完成
- 簡易水道完成（遠竹地区）
- 長里地区飲雑用水施設完成（清水、農場地区）
- 遠竹小学校プール完成
- 多良岳広域基幹林道事業着工

昭和58年（1983）
- 高来・小長井給食センター完成
- 6代町長に吉川敏隆氏5選

昭和59年（1984）
- 町営住宅井崎団地完成（10戸）
- 簡易水道完成（長里地区）

昭和60年（1985）
- 町営住宅井崎団地完成（8戸）
- 田原体育館完成
- 長里小学校プール完成

当時の出来事

1977年
- 県教職員の広域人事異動発令
- 平戸大橋完成

1978年
- 原子力船「むつ」佐世保入港
- 橘湾タンカー石油備蓄始まる

1979年
- 長崎－上海定期空路開設
- 東京サミット

1980年
- 長崎大学歯学部開学
- イラン・イラク戦争勃発

1981年
- ローマ法王来崎
- 神戸ポートピア81

1982年
- 旭大橋（長崎市）開通
- 高田勇氏が県知事に初当選
- 長崎大水害　死者299名

1983年
- 諫早湾総合干拓3、900ヘクタール規模確定
- 日本海中部地震

1984年
- 上五島石油備蓄基地着工
- 新札発行
- グリコ・森永事件

地籍調査事業が完了したこの年、小長井は町制施行20周年を迎えた。町讃歌・音頭の作成、町花・町木、町民憲章が制定され、盛大な記念式典が行われた。

▲町制20周年記念式典で小長井音頭を披露

【式辞より抜粋】

この20周年を記念するため町民皆様のご協力をいただき、町民憲章の制定、小長井町讃歌、小長井音頭の作製、町の花と木の制定、山茶花高原に山茶花千本の植樹、広報こながいの縮刷版を作製し、各戸に配布することができました。厚くお礼を申しあげます。

この記念事業はそれなりに大変有意義な事でありますが、私は町制20周年の意義は、過去の歩みを顧みるのみでなく、来たるべき次の世代に今日までの歩みをどう生かしていくかにあると思うのであります。しかし、真に住みよい町をつくって行く道は何時の時代でも、常に様々の困難な矛盾が横たわっております。この試練を乗り越えて明日の小長井町の進むべき道を切り開いていく事こそ現代に生きるものの責務であると信じます。

時あたかも20周年、小長井町はいわば成人を迎えたわけであります。この機に更に融和と団結の意識を高め、全町民が常に一体となって明るい、うるおいのある郷土小長井町の建設に邁進いたしましょう。

昭和61年（1986）

- 町営住宅西久保団地完成（10戸）
- 築切公民館落成
- 第一回多良岳サミット開催
- 十八銀行小長井支店開設
- 地籍調査事業完了
- 町讃歌、音頭を作成
- 町の花・町の木制定（町の花「山茶花」・町の木「おがたまの木」）
- 町民憲章を制定
- 町制施行20周年記念式典

県無形文化財の井崎まっこみ浮立▶

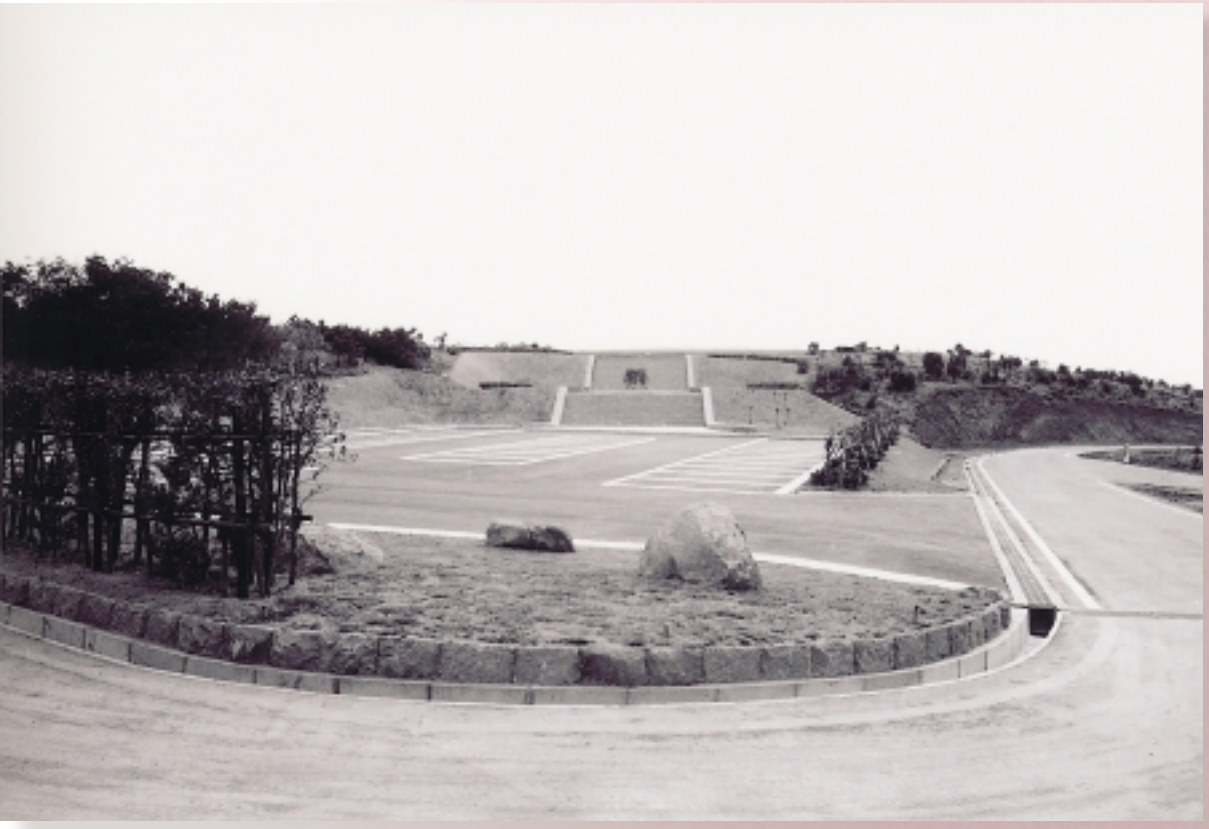
当時の出来事

1986年

- 東京を中心に地価高騰
- 土井たか子氏社会党委員長に
- 三原山噴火
- チャールズ皇太子とダイアナ妃来日
- チェルノブイリ原発事故
- 男女雇用機会均等法施行

1987~1989

吉川町政のあとを受け古賀町政がスタート。
62年4月28日、
職員に迎えられ初登庁された古賀町長は42歳。
若さと行動力でさっそく執務を精力的に遂行。



▲昭和63年(1988)山茶花自然公園が完成(県工事)

◀昭和62年(1987)吉川町長が退任、古賀町長が就任

(62年度所信表明より抜粋)

私は、4月28日に町長就任以来「21世紀に向かって翔く新しい時代の小長井町づくり」を目指して

一、活力と活気にみちた産業の育成。特に若者が安心して働ける雇用の創出。
一、次代を担う人づくり教育の振興。
一、住みよい生活環境の整備。
一、健康で心のふれあう社会づくり
一、明日に向けた郷土の基盤づくり

の5つを町政の柱として、その具体的な施策の推進に全力を傾注いたしております。

小長井大橋が開通する前の道路

「あの頃―そして今」

小長井今昔写真

[写真上]昭和50年(1975)船津商店街の入口付近
[写真下]平成16年(2004)

伝えたい記憶、残したい風景。

❶昭和63年（1988）県民植樹際
❷平成元年（1989）小長井２世紀館完成
❸平成元年（1989）駅前広場完成
❹平成元年（1989）ふるさとうまか便発送
❺平成元年（1989）小長井昔ばなし絵本化

2

1

5

4

3

昭和62年（1987）
- 小長井町商工会館落成
- 7代町長に古賀忠臣氏初当選
- 町づくり地区別フォーラム実施

昭和63年（1988）
- 長里小学校150周年記念・校訓碑建立
- 山茶花自然公園完成
- 山茶花公園にて第15回県民植樹祭開催
- 長戸鬼塚古墳が県史跡に指定される
- 長里地区町民グラウンド完成
- 町営住宅西久保団地完成（10戸）
- 諫早西友にて小長井物産展開催

▲昭和63年（1988）牧道路公園が完成

平成元年（1989）
- デイサービス事業開始
- むらおこし事業実行委員会発足
- 東京小長井会発会
- 第1回ふるさとうまか便発送
- 町民相撲場・中学校武道場完成
- 駅前広場整備・小長井2世紀館（駅舎）完成
- 小長井町基本構想策定
- 遠竹保育園落成
- 小長井100周年記念式典挙行
- 山茶花高原開き・たこ揚げ大会「あぐうDAY」
- フルーツバス停（ミカン）出現

昭和62年（1987）
西久保団地が完成
（61年10戸、63年10戸）▶

当時の出来事

1987年
- 国鉄分割民営化JR誕生
- エイズ問題が深刻化

1988年
- 青函トンネル開業
- 瀬戸大橋開通
- ソウル五輪開幕

1989年
- 昭和天皇崩御、平成と改元
- 消費税3％のスタート
- 「みどりの日」制定
- 諫早湾干拓事業起工式（諫早文化会館）

平成2年~4年

1990~1992

長里駅の開業、山茶花高原ピクニックパーク整備への着手、ナイター施設や福祉センターの落成、山茶花高原ロードレース大会や子ども議会の開催など次から次に新たな施策を展開。

▲平成３年(1991)天皇陛下御即位奉祝と歴代村長頌徳碑除幕式でのアトラクション

◀平成2年(1990)長里駅が落成し開業

▶平成2年(1990)長里団地が完成(19戸)

目島から役場付近を望む

「あの頃―そして今」小長井今昔写真

[写真上]昭和48年(1973)頃の目島付近
[写真下]平成16年(2004)

伝えたい記憶、残したい風景。

❶平成２年(1990)山茶花高原ピクニックパークパターゴルフ施設
❷平成２年(1990)普賢岳噴火
❸平成３年(1991)さざんか会館落成
❹平成４年(1992)ゴールデンウィーク中の山茶花高原
❺平成３年(1991)第１回山茶花ロードレース大会
❻平成４年(1992)西友にて物産展

2

1

3

4

5

平成2年（1990）

- 第１回健康まつり開催
- ＪＲ長里駅開業
- 町営住宅長里団地完成入居（10戸）
- 天堤地区土地改良記念碑除幕式
- 遠竹本村公民館完成
- フルーツバス停第２弾（ミカン・メロン・イチゴ）出現
- 長崎「旅博」に井崎浮立出演
- 天皇陛下御即位奉祝記念式典並びに歴代村長、町長頌徳碑除幕式

平成3年（1991）

- 小川原浦地区簡易水道施設完成
- 町民グラウンドナイター施設完成オープン
- 山茶花高原ピクニックパーク・パターゴルフ・ローラースケート・ＢＭＸコースの完成
- 古賀忠臣氏が町長再選（無投票）
- 多目的福祉センター「さざんか会館」落成
- 広域農道川内トンネル貫通
- 毘沙天岳公園整備完成
- 広川良地区開拓40周年記念式
- 町ビデオ「美しき人と自然と・小長井の四季」作成
- 大型台風17・19号の襲来、農作物・人家に大被害
- 長里地区農業構造改善センター落成
- 同地区農道擁線の開設完了 665m
- 山茶花高原ロードレース第１回大会

平成4年（1992）

- 長里駐在所新築落成
- 町営住宅遠竹団地完成入居（10戸）
- 清水公民館落成
- 山茶花高原、モノレール・レーザーガン・物産販売所建設
- ふれあい広場屋根付きゲートボール場落成
- 山茶花高原ピクニックパーク入場30万人達成
- 県営農免農道小長井南部地区・町営平床ほ場整備同時起工式
- 小長井中学校体育館大規模改造完工
- 構造改善センター落成、祝賀に長里浮立を復興
- 県営広域農道延伸区間・井崎地区着工
- 第１回子ども議会開催

6

当時の出来事

1990年
- 高田勇知事３選
- 長崎文化放送（ＮＣＣ）開局
- 第41回全国植樹祭・国見町
- イラクがクエートに侵攻
- 雲仙普賢岳１９９年ぶり噴火

1991年
- 普賢岳で大火砕流発生
- 横綱千代の富士引退
- 湾岸戦争勃発
- ソ連崩壊

1992年
- エイズ感染急増
- ＰＫＯ法案可決
- (米)クリントン大統領当選
- バルセロナオリンピック

平成5年~6年

1993~1994

山茶花高原ピクニックパーク整備が着々と進む中、平成6年8月、開園(平成3年4月)以来の入場者が100万人を突破。町の知名度が高まっていく。

▲平成5年(1993)本部分団に本町初の消防女子団員が入団

▲平成5年(1993)平原橋完成に27年ぶりの牧浮立で渡り初め

▲平成5年(1993)山茶花高原にモノレールが完成

▲平成6年(1994)光の丘遊具施設整備が完成

▲平成5年(1993)光の丘レーザーガン施設

伝えたい記憶、残したい風景。

▲平成５年（1993）馬渡廣雄さんがB29鎮魂碑を建立

▲平成６年（1994）柳新田土地改良事業が完了

平成5年（1993）

- 鹿の塔展望場完工落成
- 町消防団に初の女性団員3名が入団
- 町議会に「JR長崎本線存続期成会」を設立
- 小長井町振興公社設立（ピクニックパーク運営）
- 第1回いきいき長寿の集い「敬老会」・全町70歳以上
- 遠竹小学校校訓碑建立
- 牧平原橋の完工・渡り初め祝賀にて牧浮立27年ぶりに披露

平成6年（1994）

- 一人暮しお年寄宅の「緊急通報システム」導入
- 柳新田土地改良事業（県・団体営）9ヵ年工事の完了祝賀
- 第3分団コミニュティ消防センター完成
- 町防災行政無線システム開局
- いきいきふれあい「町内小中合同潮干狩り」
- 足角地区コミニュティセンター完工落成
- かんばつ渇水緊急対策に着手
- 山茶花高原ピクニックパーク100万人入場達成
- 町環境美化の推進に関する条例施行
- 第39回郡体に10年ぶり11回目の総合優勝
- 小長井小学校大規模改修工事完了
- 田原町民グラウンド完成
- 諫早湾水産振興特別対策事業の実施
- 第4分団消防コミニュティセンター完成

▲平成６年（1994）小長井小大規模改修工事が完成

▲平成６年（1994）三笠宮寛仁殿下がみさかえの園を視察

当時の出来事

1993年

- 普賢岳噴火に伴う土石流発生
- Jリーグ開幕
- 皇太子徳仁親王御成婚
- 北海道沖地震奥尻島で津波と大災害
- 長雨冷夏で米不作と米の輸入自由化決定

1994年

- 高田勇知事4選
- 湯江郵便局新築落成
- 松本サリン事件
- 向井千秋さんが宇宙へ

平成7年~8年

1995~1996

平成7年4月、学校週5日制が実施され、第2・第4土曜日が休校に。
同月、古賀町長が3選。
平成8年、町制施行から30周年を迎える。

▲平成７年(1995)山茶花高原ピクニックパーク香りの庭園が完成

舟津付近

「あの頃―そして今」
小長井今昔写真

[写真上]昭和40年(1965)頃の舟津通り(小川原浦)
[写真下]平成16年(2004)

▲平成８年(1996)香りの館が完成

◀平成7年(1995)多良岳広域基幹林道が大村まで開通

伝えたい記憶、残したい風景。

▲平成８年(1996)町制30周年記念ポスター

▲平成８年(1996)町制施行30周年記念式典

平成7年（1995）

- 牧地区にマイホーム型町営住宅９戸完成
- 古賀忠臣氏が町長３選
- 牧グラウンド簡易照明つきで新装
- 小長井駐在所落成
- 多良岳グリーンロード（広域基幹林道）大村まで開通
- 風力発電試験実施地として山茶花高原が九州１号で選定される。

平成8年（1996）

- 県営多目的船津ダムの工事用道路開設
- 山茶花高原ハーブ園「香りの館」落成オープン
- 小長井町総合計画（後期基本Ｈ８～12年）策定
- 長里小学校特別教室棟竣功
- 小長井本港（築切）の完成による本格利用
- 第２分団消防コミニュティセンター落成
- 新田原コミニュティセンター落成
- 尾ノ上地域農業拠点施設（公民館）落成
- 特別養護老人ホーム「希望園」起工式
- 広川良ミニダム完成
- 町産業振興センター起工
- 山茶花高原ピクニックパーク入場２００万人達成
- 町制施行30周年記念式典

▲平成８年(1996)ＪＲ九州が「肥前山口～諫早間」を経営分離区間と表明

当時の出来事

1995年

- 阪神淡路地方に直下型大地震発生
- 東京地下鉄でサリン事件
- 諫早湾干拓北部排水樋門竣工式

1996年

- 県央新倉屋敷クリーンセンター落成
- 諫早北高森林組合事務所貯木場竣功落成
- 佐賀・長崎県で「世界炎の博」開催
- 病原性大腸菌Ｏ－１５７発生

平成9年~10年

1997~1998

町は発展を重ね、成熟に向けて更に施策が進められる。高齢化社会に向けた福祉施設の誘致、風力発電施設導入による地球温暖化防止への積極的な取り組み、採石問題解決のための住民条例の制定など……

▲平成９年(1997)小長井希望園が落成

▲平成９年(1997)産業振興センターがオープン

◀平成９年(1997)町営住宅田原団地が完成。建設大臣表彰を受賞

▶平成９年(1997)山茶花高原に航空機館がオープン

伝えたい記憶、残したい風景。

❶平成10年（1998）遠竹小体育館の落成を祝う区民
❷平成10年（1998）耐震対策の為役場庁舎を改修
❸平成９年（1997）ミス山茶花が赤米を収穫
❹平成10年（1998）漁協直売所オープン
❺平成10年（1998）風車１号機を設置

1

2

3

4

5

平成９年（１９９７）

- 特別養護老人ホーム「小長井希望園」が竣工落成
- 産業振興センターがオープン
- 山茶花高原光の丘広場に「航空機館」がオープン
- 伝統的な木造住宅による町営住宅田原団地が完成
- 田原団地が建設大臣表彰を受賞
- 清水開拓50周年記念祝賀会開催
- 古代米の赤米栽培開始

平成10年（１９９８）

- 山茶花高原の風力発電試験で「設置・運転」が採択
- 遠竹小学校体育館が完成
- 国道２０７号沿いに小長井町漁協直売店がオープン
- 役場庁舎をリニューアル
- 山茶花高原風力発電機、本格稼動開始
- 採石場新設などの賛否を問う「住民投票条例」が可決

▲平成10年（1998）第１回九州地区押花コンクール開催

当時の出来事

１９９７年

- 消費税５％スタート
- 神戸児童連続殺傷事件
- 香港返還
- ダイアナ元妃事故死

１９８８年

- 長野冬季オリンピック開幕
- 明石海峡大橋が開通
- 金融ビッグバン始動
- インドネシアで暴動、スハルト大統領辞任
- サッカーW杯、日本代表初出場
- 小渕内閣発足
- 北朝鮮がミサイル発射
- アメリカ、イギリス軍、イラク空爆

平成11年~13年

1999~2001

採石場の賛否を問う住民投票が実施され、その結果をもとに次の行政施策を展開。情報公開条例、まちづくり住民参加条例、環境及び景観保全条例の制定など先進的な取り組みに各地から視察者を迎える。

▲平成11年(1999)文化ホール開館

小長井駅

あの頃―そして今

小長井今昔写真

[写真上]昭和40年(1965)頃小長井駅
[写真下]平成16年(2004)

▲平成12年(2000)たらみ小長井工場を誘致、フルーツバス停を設置

◀平成11年(1999)太良町と合同開催のさざんか学童駅伝大会

伝えたい記憶、残したい風景。

❶平成11年（1999）航空写真
❷平成12年（2000）中山間地直接支払制度開始
❸平成11年（1999）舟津ダム定礎式
❹平成12年（2000）オフロードカーオープン
❺平成11年（1999）地域振興券交付
❻平成12年（2000）風車２号機建設

1

2

3

4

5

6

平成11年（1999）
- 黒仁田地区に小長井東部地区活性化施設が完成
- 本町での地域振興券の交付スタート
- ふるさと林道山茶花線の開通を記念し、太良町と合同で「さざんか学童駅伝大会」を開催
- 10代町長に古賀忠臣氏が４選
- 採石場の賛否を問う住民投票を実施、投票率は67・75％で、賛否の結果はほぼ拮抗
- 船津ダムの定礎式を実施
- 小長井文化ホール開館

平成12年（2000）
- たらみ小長井工場竣工式
- 釜コミュニティーセンターが完成
- 環境及び景観保全条例と町づくり町民参加条例の施行
- 町づくり町民参加条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を公布
- 山茶花高原風力発電施設（２号機）稼動
- 長里小学校大規模改造工事完成

平成13年（2001）
- 「多良街道」道標の碑建立
- 長崎県採石場所在市町村協議会発足、古賀町長が会長に就任
- 定例議会で初の日曜議会開催
- 山茶花高原にオフロードカーオープン
- １回目の町民いこいの日実施
- 広域農道多良岳南部第２地区全線開通
- 市町村合併シンポジウム開催

当時の出来事

1999年
- NATOがユーゴ空爆
- 佐渡トキ保護センターで国内初の人工ふ化に成功
- 羽田発千歳行き全日空機がハイジャック
- トルコ北西部で強い地震、死者１万人以上
- 台湾で大地震、死者２千人以上
- 自自公連立内閣発足

2000年
- 阪神淡路大震災５周年犠牲者追悼式典
- 有珠山が23年ぶりに噴火
- ロシア大統領選挙でプーチン氏当選
- 森内閣発足
- 沖縄サミット
- シドニーオリンピック開幕

2001年
- 静岡県焼津付近の上空で日航機同士がニアミス事故
- アメリカ大統領にブッシュ氏が就任
- ハワイ・オアフ島沖でアメリカ海軍原子力潜水艦と宇和島水産高校の実習船が衝突
- 小泉内閣発足
- ネパール国王夫妻が王宮内で射殺
- アメリカ同時多発テロ
- 雅子妃殿下、内親王殿下ご出産

平成14年~15年

2002~2003

地域イントラネットやケーブルテレビが完成、下水道施設も一部供用開始され、快適な生活基盤の整備が進む。

一方、県央地区では合併協議会が設置されるが、議論が進むなか将来像を案じて小長井町は脱退を議決する。

▲平成14年(2002)合併協議会の開催

▲平成14年(2002)風車３号機完成

▶平成15年(2003)市町村合併地区別懇談会を開催

◀平成15年(2003)住民投票条例制定の住民請求

伝えたい記憶、残したい風景。

❶平成14年（2002）水門開放絶対反対総決起大会
❷平成14年（2002）下水道管渠埋設工事着手
❸平成15年（2003）GIS システム稼動開始
❹平成15年（2003）地域イントラネット基盤整備事業完成
❺平成15年（2003）住民投票条例修正案可決
❻平成15年（2003）第47回九州実業団相撲選手権

1

2

3

4

5

6

◀平成15年（2003）新世代地域ケーブルテレビ事業

平成14年（2002）

- 地方自治の治績に対し、全国町村会より表彰される
- 県央地区一市四町合併協議会設置、7月から一市五町に
- 住基ネットワーク稼動開始
- 船津ダム完成式
- 水門開放絶対反対住民総決起大会

平成15年（2003）

- 風力発電施設3号機竣工式
- 本町初のエコファーマーに認定証交付。
- 新小長井Ⅱ世紀館完成。
- 下水道処理施設完成。長里地区から一部供用開始
- 地籍活用型GIS稼動開始。
- CATV本格稼動開始。
- 11代町長に古賀忠臣氏が5選
- 住基ネット第2次サービス開始。
- 合併協議会脱退
- 住民投票条例修正案可決

当時の出来事

2002年

- 東京でアフガニスタン復興支援国際会議が開催
- ユーロ紙幣と硬貨、EU12ヶ国で流通開始
- 日朝首脳会談

2003年

- 自衛隊イラク派遣
- SARS集団発生
- ハウステンボス会社更生法申請

住民投票が実施され、「すぐに合併」が過半数を占める。古賀町長は辞職、山下町長が無投票で当選。一市五町での合併協議を再開し、県央地区一市五町の合併が決定。平成十七年三月、諫早市小長井町となる。

▲市町村合併の調印がなされる

【施政方針より抜粋】

3月25日第19回合併協議会から本町も再び協議会に加入し、1市5町で再出発することとなりました。4月28日の合併協定調印式を経て、関係市町で臨時議会が開催され、合併関連議案が議決されました。

5月17日には、1市5町の首長、議長こぞって知事に廃置分合申請書を提出いたしました。今後は、6月23日に県知事より、合併決定書の交付を受け、7月上旬には、県知事から、総務大臣へ届出、告示など一連の手続きがなされ、平成17年3月1日、ひとが輝く創造都市・諫早を都市像とする、新「諫早市」が誕生の予定でございます。

これまで紆余曲折はございましたが、これも偏に町民皆様方のご理解と、合併協議会委員、議会議員の皆様並びに、関係者各位のご努力の賜であり、心より感謝とお礼を申し上げます。

新市発足までの限られた期間の中で、町民皆様のための合併であることを念頭に、これまでの基本構想や基本計画を引き継ぎ、整合性のある一貫したまちづくりを推進するため、残された合併協定項目の具体的調整に取り組んで参ります。

▲田代団地が完成(16年2戸、17年4戸)

◀大久保コミュニティセンターが竣工

❶市町村合併住民説明会を開催
❷経塚の地上標識が発見される
❸下水道汚泥処理施設完成
❹市町村合併の意思を問う住民投票の実施

1

2

3

4

平成16年（2004）

- 合併についての意思を問う住民投票、「すぐに合併」が過半数
- 古賀町長辞職　5期17年間の大役を退任
- 12代町長に山下勝紀氏が初当選　3月1日から就任
- 県央地区一市五町合併協定調印式
- 小長井浄化センター通水式
- 健康センター建設着工
- 山茶花高原に観覧車建設着工

▲県広報コンクールで最優秀賞を受賞

当時の出来事

2004年

- 59年ぶりに戦地へ派兵
- 新札発行、千円は野口英世、5千円は樋口一葉
- アテネでオリンピックの開催、第1回大会（1896年）以来108年ぶり
- 新潟中越地震発生
- スマトラ沖大地震・インド洋津波発生

小長井史

歴代村長町長

初代村長就任から１１６年間の長きにわたり、小長井の発展に尽力された歴代の村長、町長。平成２年に頌徳碑が建立され、その功績が讃えられています。

田川九郎助氏

５代村長
明治36年12月22日～明治37年８月29日
（小川原浦）

宇野右馬之進氏

２代・６代・10代村長
明治26年５月13日～明治30年５月12日
明治37年９月16日～明治38年３月27日
明治45年１月12日～大正２年５月25日
（小川原浦）

佐藤　覚氏

７代村長
明治38年５月10日～明治40年３月21日
（井　崎）

増山文之助氏

３代村長
明治30年５月13日～明治34年５月12日
（牧）

古賀徳太郎氏

８代村長
明治40年４月17日～明治40年12月20日
（井　崎）

赤司　傳吉氏

４代・11代・12代・14代村長
明治34年５月27日～明治36年11月18日
大正２年６月７日～大正10年４月５日
大正11年８月25日～大正15年８月24日
（大久保）

毎熊　敬一氏

初代村長
明治22年５月11日～明治26年５月10日
（田　代）

古賀　忠臣氏

7代・8代・9代・10代・11代町長
昭和62年4月28日～平成16年1月31日
（井崎、小川原浦）

古賀　鼎三氏

19代・20代・22代村長
昭和16年1月19日～昭和16年9月19日
昭和17年7月10日～昭和18年5月30日
昭和19年8月10日～昭和20年11月15日
（井　崎）

古賀　正偉氏

9代村長
明治41年1月7日～明治45年1月6日
（舟　津）

山下　勝紀氏

12代町長
平成16年3月1日～平成17年2月28日
（小川原浦）

古賀　德郎氏

24代・25代・26代・27代・
28代村長・初代町長
昭和22年4月8日～昭和41年10月31日
昭和41年11月1日～昭和42年3月8日
（井　崎）

田川　道英氏

13代・15代・16代・17代・23代村長
大正10年5月4日～大正14年5月6日
大正15年9月2日～昭和13年9月1日
昭和20年12月29日～昭和21年10月24日
（小川原浦）

松尾　菊馬氏

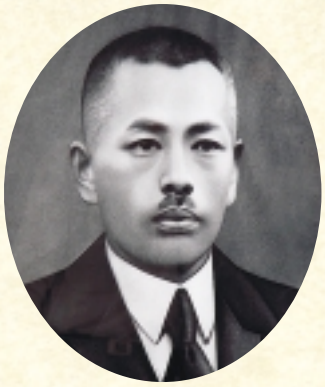
臨時村長代理
※昭和16年9月20日～昭和17年7月9日

池田　芳信氏

町長代理
平成16年2月1日～平成16年2月29日
（遠　竹）

吉川　敏隆氏

2代・3代・4代・5代・6代町長
昭和42年4月28日～昭和62年4月27日
（小川原浦）



佐藤　常治氏

18代・21代村長
昭和13年9月2日～昭和16年1月8日
昭和18年5月30日～昭和19年7月12日
（井　崎）

歴代議会議長

本多　正德氏

第15代
平成６年６月～平成７年４月

森　　藤治氏

第11代
昭和58年５月～昭和60年５月

黒木　繁観氏

第３・４代
昭和26年５月～昭和34年４月

清水　三義氏

第16代
平成７年５月～平成８年12月

山口　澤輝氏

第12代
昭和60年５月～昭和62年４月

森　　鼎氏

第５・６代
昭和34年５月～昭和42年４月

北村多喜男氏

第17代
平成９年２月～平成11年４月

小溝　　太氏

第13代
昭和62年５月～平成３年４月

佐藤　常治氏

第７・８・９代
昭和42年５月～昭和54年４月

新宮八五郎氏

第１代
昭和22年５月～昭和22年８月

矢竹太次郎氏

第２代
昭和22年８月～昭和26年４月

原　　安弘氏

第18代
平成11年５月～

中村弥三郎氏

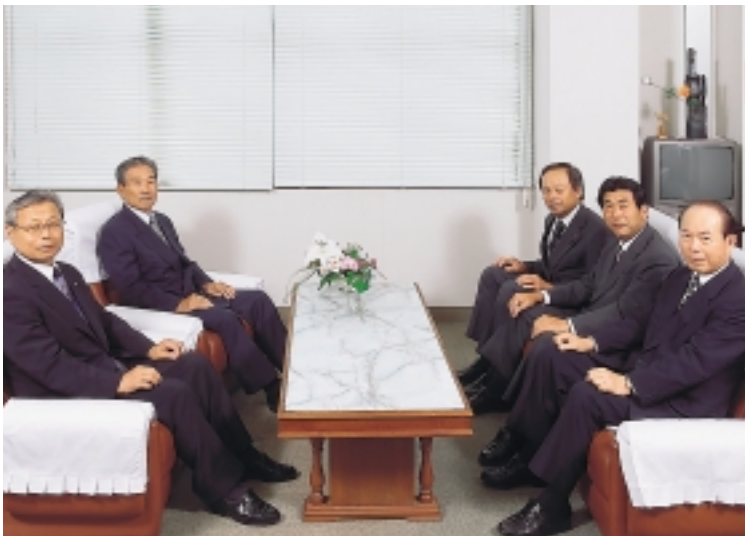
第14代
平成３年５月～平成６年６月

鏡　　初孝氏

第10代
昭和54年５月～昭和58年４月

議会

原　　安弘氏
議　長



山下　勝紀氏
町　長

赤﨑　光善氏
副議長

行政

土井　勝義氏
助　役

岩崎　　稔氏
教育長

広報で見るふるさと小長井

HISTORY of Heartful KONAGAI

昭和三十三年十一月の災害特集号を経て公民館報の第一号を発刊し、広報こながいは五百二十号を数えました。この四十六年の広報誌の足跡を振り返ります。

No.1 広報小長井 1958.11

小長井公民館報の創刊にあたり

村長 古賀徳郎

あるものは

一、長崎大干拓事業

小長井村と長井地先を含む

五百町歩の二万二千町歩を干拓し、約五千町歩の耕地を造成することでありまして、三千反歩を約、三十五年度で実施計画、早ければ三十六年度着工の予定であります。

本事業は小長井の将来の財力を大きく左右するものであります。

二、多良岳総合開発事業

大村・諫早・島原・小長井・北高来郡の両郡と、また、千五百人の皆様の代って、行政を担当して働いているのであります。

私はこの事に非常な熱意を持って皆様のために尽くしたいと同時に、皆様に満足を与えるのであります。皆様方は特に小長井村の住民、行く方に対し、ある時は厳しきお叱りもありましょうし、又励ましの声、不平もある事と存じます。私としてもこの責務を通じ、又あらゆる努力をして、皆様の期待に沿いたいと存じます。

皆様方のなお特別なる御協力を切望する次第であります。

二、多良岳総合開発事業

大村・諫早・島原・小長井・北高来郡の両郡と、また、千五百人の皆様の代って、行政を担当して働いているのであります。

私はこの事に非常な熱意を持って皆様のために尽くしたいと同時に、皆様に満足を与えるのであります。皆様方は特に小長井村の住民、行く方に対し、ある時は厳しきお叱りもありましょうし、又励ましの声、不平もある事と存じます。私としてもこの責務を通じ、又あらゆる努力をして、皆様の期待に沿いたいと存じます。

皆様方のなお特別なる御協力を切望する次第であります。

二、小長井港湾整備事業

小長井港湾は県営の漁港事業でその施設は繋船岸の新設延長の如きであります。三千二百隻もの漁船の繋留ができる様になります。五ヶ年計画で総額の予定であります。

三、小長井漁港整備事業

小長井港湾は県営の漁港事業でその施設は繋船岸の新設延長の如きであります。三千二百隻もの漁船の繋留ができる様になります。五ヶ年計画で総額の予定であります。

三、小長井漁港整備事業

小長井港湾は県営の漁港事業でその施設は繋船岸の新設延長の如きであります。三千二百隻もの漁船の繋留ができる様になります。五ヶ年計画で総額の予定であります。

農村公衆電話新設される

農村公衆電話架設については、小長井村と小長井局との協力により昨年三台の新しい電話が架設されました。これでいよいよ村内のすみずみまで即時に連絡がつくようになり大変便利になりました。

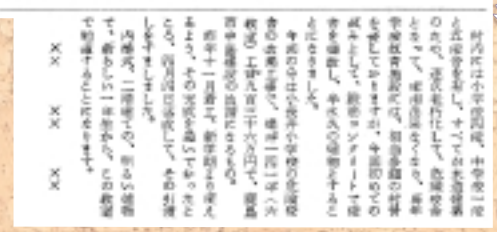
諫竹　青木和信宅　電話七六番
打越　福本ワサ宅　電話七七番甲
川内　称念寺　電話七七番乙

No.11 広報小長井 1960.1

鉄筋コンクリートに新築された小長井小学校

整備される学校教育施設

No.33 広報小長井 1962.4



No.53

1963.12
（S38）

No.34

1962.5
（S37）

No.24

1961.5
（S36）

No.15

1960.6
（S35）

No.9

1959.11
（S34）

小長井自動車教習所完成

交通安全のため無免許運転を
なくしましょう

立派に完成された小長井自動車教習所

No. 85
広報小長井
1966. 11

小長井町章入賞決まる

一等入賞　竹田主事作品（設計委員会）

No. 84
広報小長井
1966. 10

オリンピック東京大会

世紀の聖火リレーの責任を無事果した小長井チーム

オリンピック東京大会も、目前に迫り、国を挙げて大会気分も盛上って来ました。その大会開会式に、聖火台に点火される聖火。オリンピアの発祥地である、ギリシャのアテネで採火された聖火、この聖火を、村内青年代表七名と長田中学生十六名計二十三名の手によって、諫早市西中学校入口より、横島海水浴場前まで二・一kをリレーする、栄えある責任を負うことが出来ました。

九月十四日定刻前より、沿道一帯は世紀の祭典に参加する、人波と日の丸の小旗で埋まってしまいました。定刻十三時四十七分"オリンピア、アテネよりの聖火見ゆる"で、観衆は、一斉に拍手と、旗の波を以って迎えました。アカアカと燃ゆる火は小長井チームのトーチへと引継がれる。正走者、野中君が高だかと、力強く掲げた聖火は、まことに感激の一瞬であった。一行二十三名の走者は農林センターを左手に見て、ひた走りに走り、横島海水浴場前で、次の走者へと引継ぎ、無事この大任を終えることが出来ました。

当日は多数御参加御声援頂きました、村内みなさん方に深く感謝致します。

No. 62
広報小長井
1964. 9

廃品回収のお金を
共同募金へ

中学校目島子供クラブの良い子たち

小長井中学校目島子供クラブ二五名（会長松井清司君、副会長佐藤良子さん）は十月一日から始った赤い羽根（共同募金）に協力しようと廃品回収を申し合せその売上金一、八二五円を役場の共同募金会に届けられました。町では子供たちの善意に深く感謝し一般募金とともに県共同募金会へ納入いたしました。

目島子供クラブの皆さん本当に有難う御座いました。

No. 94
広報小長井
1967. 12

皇太子殿下奉迎記念事業
庭園式（みだれづみ）石垣工事完成

皇太子奉迎記念みだれ橋石垣　44年10月完成

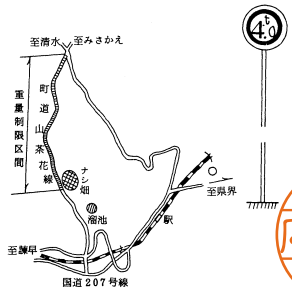
No. 116
広報小長井
1970.3

退団者から
小長井町青年団旗の寄贈

No. 125
広報小長井
1971.4

町道茶山花線
重量制限について

山茶花線舗装道路の路肩が軟弱のため事故発生のおそれがありますので，１２月５日より４トン車以上の通行を禁止しておりますので重車輌を運転される方，ならびに車の所有者は車輌の運行に注意して下さい。



No. 153
広報小長井
1974.1

「自主納税宣言町」の誕生

小長井町におきましては、昨年十二月二十日町議会において、これからの税務行政の合理化、効率化をねらいとした「自主納税宣言町」として発進することが議決されました。この「自主納税宣言町」の発想は納税貯蓄組合、納税班が母胎となって町と一体となり、豊かで明るい町づくりのため、自主申告、自主納税の認識を新たにして、現在迄つちかわれた納税思想を更に持続し、小長井町の良風美俗として次代をになう後継者にも受け継がれるよう恒久的な施策として生まれたものであります。

No. 133
広報小長井
1972.3

No. 107
広報小長井
1969.4

昭和四十三年度 赤ちゃんコンクール
表彰に輝く優良賞五名 努力賞二名

No. 142
広報小長井
1972.11

青年団郷土芸能最優秀賞に輝く
全国大会出場も決まる

最優秀賞に輝く
長崎国際文化会館（９月１５日）

No.152

1973.11
（S48）

No.138

1972.5
（S47）

No.128

1971.6
（S46）

No.121

1970.11
（S45）

No.108

1969.6
（S44）

広報で見るふるさと小長井

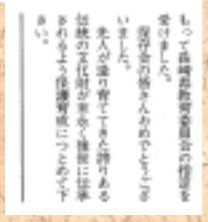
No. 156 広報小長井 1974. 4

武富さんのご厚志

No. 189 広報小長井 1977. 7

井崎まっこみ浮立

県無形民俗文化財の指定を受く



No. 180 広報小長井 1976. 10

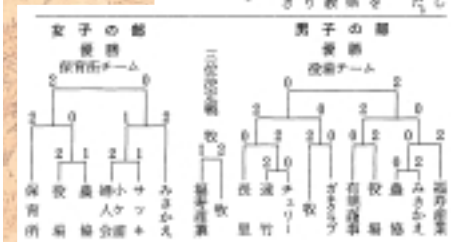
本町消防団準優勝に輝く

〈県ポンプ操法大会〉

No. 157 広報小長井 1974. 6

第一回町民バレーボール大会開かる

女子優勝の保育所チーム



No. 161 広報小長井 1974. 10

力投する松本純子さん

田原部落優勝!!

第一回部落対抗ソフトボール大会

優勝の田原チーム

No.205

1978.11
（S53）

No.194

1977.12
（S52）

No.177

1976.6
（S51）

No.168

1975.7
（S50）

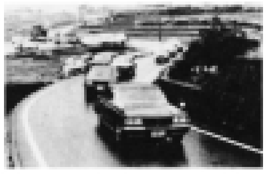
No.155

1974.3
（S49）

No.235
広報小長井
1981.5

船川地区農道が開通

昭和五十一年度から着工されておりました県営農免農道整備事業の船川地区が総事業費二億三千六百万円をかけて五十五年度に完工しました。


開通を祝うパレード

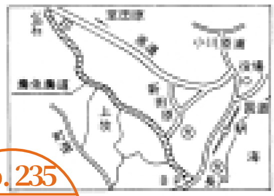
全線のほとんどが、舗装農道でしたので、水田・畑・山林・宅地など約二万四千平方メートル（約二ヘクタール）の用地を提供していただきました。地元のご協力に対し、改めて深くお礼申し上げます。今後この道路が、町民各位に大切に利用され、農業はもとより、小長井町農業経済の発展に寄与することを願っています。

なお、自分はまだ未舗装部分もありますので、重量制限（総重量十四トン）や、段差など注意の上で通行ください。

また、道路の設計速度は時速四十キロとしてありますので、スピードの出しすぎがないようお願いします。

去る三月二十四日は、川内町農業組合長はじめ関係者多数の出席をいただいて、厳かに安全と交通安全を祈願し、開通を祝いました。

本農道は、小川原浦名杭から起点に上牧を経由して、小川原浦名鳥の「農協下」に至る幅員道路で、総延長二千八百三十七メートル、幅員五メートルのアスファルト舗装です。途中には、国営農道出口線に通ずる支線と新田原、牧を結ぶ牧新線（延長十八メートル）があります。



No.216
広報小長井
1979.10

森　明子
林田　順子さん国体に出場
有田　敏明

有田さん　林田さん　森さん

九州で最後の国体、第三十四回「日本のふるさと宮崎国体」は十月十四日から十九日まで（秋季大会）宮崎県下七市町村　七十会場で繰り広げられますが、本町から成年女子の柔道競技に森明子さん（小川原浦・役場勤務）、林田順子さん（新田原・井立女子短大二年）、少年のレスリング競技に有田敏明さん（第一・大村工業高二年）が出場します。

皆さんの出場に声援を送るとともに健闘を期待します。

No.242
広報小長井
1981.12

待望の文化協会

十二月十三日(日)　設立総会

先祖代々の生命の源、霊峰多良を背に、前面には満々と水を湛えた有明の海が、秀峰雲仙をひときわ美しく映し出します。

生きていくことのすばらしさを人々に教えてくれたであろう数々の文化は、古くは江戸時代、いや、それ以前より諫早街道などを通じ、我が郷土に注ぎ込まれました。

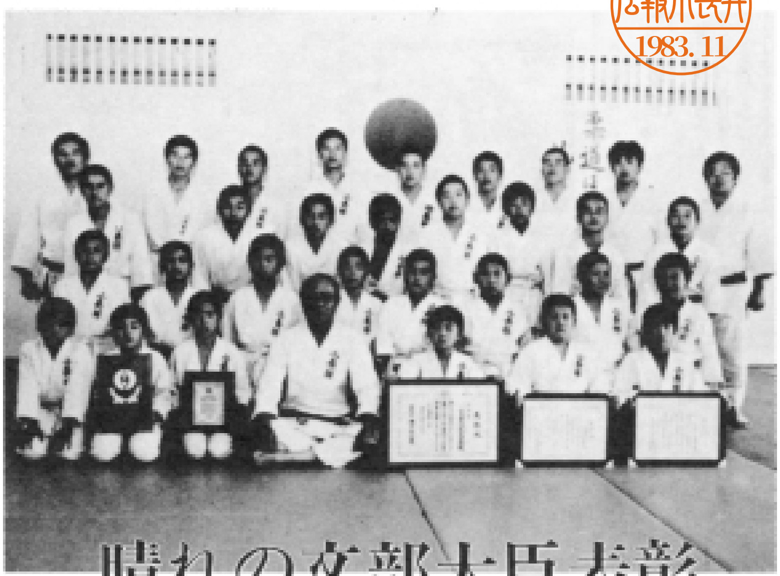
やがて、それらは特有な郷土文化として根ざし、代々に絶えることなく受け継がれてきました。こうしたすばらしい環境に育まれた伝統と文化の町に、いま、文化の灯が失われつつあるのは、誠に耐え難いことであります。

自然の文化や生活文化の維持保存はもとより、住民の情操と連帯感を高め暖みのある人間性を培う文化活動こそ、現代社会に欠くことのできないものと思われます。

文化に親しみ文化に志すもの、各種愛好会、同好会などに所属しておられるお互いが一堂に会し、町民文化のよりどころとして、文化活動を活発に推進し、連携をとり切磋琢磨してこそ真の文化が育ち、地域に密着した文化の向上発展がみられるのではないでしょうか。

このような趣旨のもとに、広く町民のご理解とご賛同をいただき、明るく住みよい町づくりの場として、文化に対する認識を高めながら、小長井町の文化の向上発展を期するために、小長井町文化協会の設立にとりくみましたところ、十二月十三日（日曜日）に町民センターで、設立総会を開催する運びとなりました。皆さまのご支援ご協力をお願いいします。

No.265
広報小長井
1983.11



晴れの文部大臣表彰

小長井町少年柔道部は戦後の混迷の時に青少年の若人としての希望と夢をもたせるのは日本古来の武道をとおしての育成にあたるのが最善との考えから、昭和二十一年三月に設立されました。

この間森田先生の指導を労力だない熱心なご指導と関係者のご協力で健全な育成指導をみております。この三十八年間にわたる青少年の健全育成が認められ、社会体育優良団体として文部大臣表彰を受賞されました。

この度の表彰をお喜びいたすとともに今後のご活躍をお祈りします。

わたしたちの町の人口

人口	7,597人
男	3,496人
女	4,102人
世帯	1,860
転入36人	出生 3人
転出23人	死亡 2人

10月1日現在

No.215
広報小長井
1979.9

珍プレーに沸く

第一回スローピッチソフトボール大会

壮年（四十歳以上）を対象にして相互の親睦、融和を深め、併せて体力の増強を目的としたスローピッチソフトボール大会は八月十二日町民グラウンドに八チーム約百名の選手が参加して開催されました。

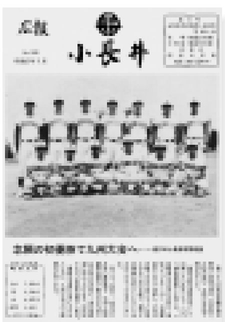
試合は二パートのリンクリーグトーナメント戦で行い、熱のはいったゲームが展開されました。昔とったきねづかとばかりボールにとびつくも気ばかりあせり体がついていかず、珍プレーに会場も沸きあがりました。

決勝戦は小川原浦対長里の対戦となり、十五対六で小川原浦が初優勝を飾りました。

No.258

1983.4
（S58）

No.249



1982.7
（S57）

No.233

1981.3
（S56）

No.222

1980.4
（S55）

No.214

1979.8
（S54）

広報で見るふるさと小長井

No. 271
広報小長井
1984. 5

UFO到来？

最近夜になると小長井の丘の上で何か光ってる。「いったい何だろう」と姉町から問い合わせの電話があった。長里付近では、夜になっても陽が落ちないように明るく光る物がある。宵の光にしては明るすぎるし、もしやUFOでは。とちまたで関心を集めているこの光。実は小長井カントリークラブ（ゴルフ場）に完成したナイター一設備の光でした。

九州では初めての設備だとか。ゴルファーの皆さんにはこたえられない魅力になりそうですね。

また一つ名物ができました。

No. 320
広報小長井
1988. 6

むらおこし実行委員会設立へ

町の活性化対策の第一歩として、むらおこし実行委員会発足に向けて五月二十三日、準備委員会を商工会館で行いました。

準備委員会は、町商工会が主体となって町や各種団体長などに呼びかけて開かれたもので、今後、町活性化に向けて実行委員会を六月に発足し活動していくことが決められました。また、実行委員会と合わせて、観光・イベント、物産振興等の小委員会を設置し活動をさらに活発に進めるようになっています。

町民一体となって、ユニークなアイデアでむらおこしを進めてもらいたいと思います。

No. 268
広報小長井
1984. 2

16年ぶりの大雪

雪やこんこん……ふってはふってはずんずん積もる

1月18日の午後から降りだした雪は、見る見る間に積もり、山間部で50センチ、平野部でも10センチ以上の積雪となり、交通機関がマヒし、スリップによる事故も続出するなど、社会の大きな迷惑でした。そんな中、子供たちだけは、まっ白な雪化粧に大喜び！元気よく外に飛び出し、雪合戦や雪だるまを作って楽しんでいました。

No. 311
広報小長井
1987. 9

全国大会で活躍

少林寺２拳士

8月1日、日本武道館で行われた全日本少年武道錬成大会少林寺拳法の部に本司の森 弘憲君（小長井小6年）と久田貴幸君（四）が県代表として出場。2人はよく健闘し、決勝進出を果たして努力賞を受賞しました。あめでとうございます。

No.318

1988.4
（S63）

No.303

1987.1
（S62）

No.300

1986.10
（S61）

No.289

1985.11
（S60）

No.272

1984.6
（S59）

広報で見るふるさと小長井

No. 415
広報小長井
1996. 5

インターネットで世界に向けて情報発信

町では、4月3日からコンピュータ通信網・インターネットを通じて、世界へ向けて情報発信を始めました。

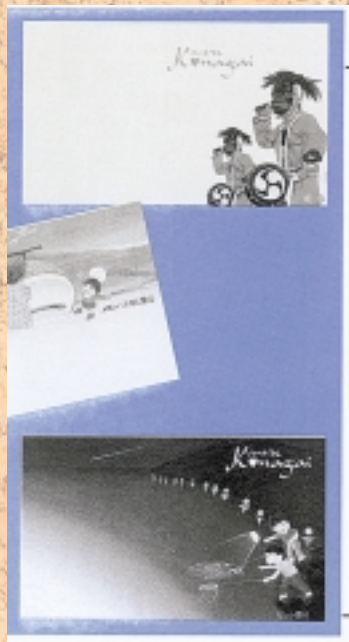
このインターネット発信情報は小長井町の特色と町の活性化の事例等を全国に紹介・アピールするもので、小長井町のホームページ「ハートフル小長井」もわかりやすく親しみやすい画面に工夫してあります。

構成内容は次のとおりです。

①小長井町の紹介
②小長井町の特産品
　ハーブ製品、海の幸、山の幸
③観光イベント情報
　山茶花高原ピクニックパーク、香りの館、庭園の紹介、イベント
④国道207情報
　フルーツバス停、その他
⑤小長井の国際人
　ローラ・ネバー（アメリカテキサス）／英語指導助

No. 370
広報小長井
1992. 8

名刺で小長井をPRしてください



このほど、小長井町のＰＲ名刺台紙を作成しました。

台紙は、町の自然、歴史、風物などをカラフルなイラストで描いたしゃれたデザイン。図柄は、小長井音頭の歌詞に合わせた５種類で「メロンパス停と雲仙」「おがたまの木」「ビッシ取り」「浮立」「山茶花高原」と、町の特徴を表わしています。

台紙は無料で差し上げますのでお気に入りの台紙をご利用ください。（名前を入れるのは各自で印刷してください。）

ご利用の方は、役場企画振興課へ。

No. 331
広報小長井
1989. 5

青年団女子部が昔ばなしを絵本化

町青年団女子部（古賀直美部長８名）では、100周年を記念し、町内に古くから語り継がれてきた小長井の昔ばなしを一年がかりで絵本化。このほど、立派なものが出来上がりました。

絵本は、町内各地区から一編ずつ７話が収録され、小長井弁まじりの楽しいお話しに仕上げられています。絵は、大久保出身で東京在住のイラストレーター川野光弘さん四に依頼し、ほのぼのとしたすばらしいタッチで描かれています。絵本には、町内のイラストマップや年表、町歌・音頭も編集されており、内容の濃いものとなっています。

出来上がった絵本を手に古賀さんは「すばらしい小長井の昔ばなしを、消えさらないうちに形として残したいと思い作成しました。この絵本を通して、お母さんから子供たちへときさらに語り継がれることを願っています」。

No. 387
広報小長井
1994. 1

自慢のじゃが全国へ

山茶花高原農産部会（高下雄会長、10戸）では、毎年、当地区自慢の「山茶花高原じゃがいも」をゆうパック便で全国にアピールしています。昨年も12月1日に第1便の出発式があり、新しいじゃがいも200箱を全国各地に発送されました。今回も、前回以上の出荷を見込んでいます。

No.422

1996.12
（H８）

No.403

1995.5
（H７）

No.363

1992.1
（H４）

No.343

1990.5
（H２）

No.331

1989.5
（H元）

ブライダルファッションショー in ハーブ園

あなたはどのドレスが好きですか？。これは11月12日、山茶花高原ハーブ園で行われたブライダルファッションショーの一コマです。モデルになったのは、前日から行われていた天使のウインクプロジェクト（男女交流会）に参加した町外独身女性の皆さんです。この催しはペアペアバターゴルフやラブリーポプリ教室、天使のハーベストパーティーなどに、このファッションショーを組み合わせた、素敵な出会いと楽しい企画のイベントで、最後には7組ものミレニアムカップルが誕生し、盛会のうちに終了しました。

なお、このファッションショーの実施にあたっては、長崎市のマツヤブライダルサロン様にご提供、ご協力をいただいております。

No.448
広報小長井
1999.2

3月21日

地域振興券（商品券）の交付がはじまります。

地域経済を元気にするために地域振興券が交付されます。その主な内容は次のとおりです。

○交付額は一人につき二万円分です。
○町に登録された店舗等でお使いいただけます。
○額面は一枚千円、お釣はもらえません。
○有効期間は九月二十日（交付開始日から六カ月以内）までです。
○交換、譲渡、売買はできません。
○使用できるのは、交付対象者ご本人またはその代理人・使者の方に限ります。

No.470
広報小長井
2000.12

懐かしい『小・長・井』を募集

小長井の想い出と歴史を記録として残すため、記念誌を発行します。
皆さんの家庭に眠る「懐かしい小長井」の風景や行事などの写真を提供していただきますようお願いいたします。

No.513
広報小長井
2004.7

▲一度に4枚までの布団を乾燥します

No.500
広報小長井
2003.6

県下で初の布団乾燥車が走る

町では、社会福祉協議会を通じた介護予防・生活支援サービスの一環として、5月から寝具の乾燥消毒サービスを始めました。

これは、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、病気や障害などで寝具の衛生管理が困難な方を支援する保健福祉サービスです。

専用の車両で居宅を訪問し、掛け布団や敷き布団、毛布、マットレスなどを40～50分かけて清潔でふわふわ、そして心地よい檜の香りに仕上げます。

利用料は無料ですが、乾燥器具を運転するための家庭用電源は負担してもらうことになっています。

No.444
広報小長井
1998.10

『清水開拓史』絵本として出版！

このほど、田島千鶴子さん（清水）が、開拓当時の苦労話しを絵本にした清水開拓史「おばあちゃんのおくりもの」を出版されました。これは田島さんが平成6年頃から先輩のご婦人たちから聞き書きを始められ、今まで小冊子として3冊出版されてきました。そこで今回清水開拓史の歴史を一人でも多くの方に知ってもらいたいとその全3冊を合本され、出版されたものです。絵と写真で綴られたこの絵本は大変読みやすく、その当時の苦労がひしひしと伝わってきます。くわしくは、田島さん（☎34-3260）へお問い合せください。

No.515

2004.9
（H16）

No.506

2003.12
（H15）

No.491

2002.9
（H14）

No.461

2000.3
（H12）

No.438

1998.4
（H10）

山茶花高原 フォトコンテスト
Sazanka Photo Contest
2000

「山茶花高原」 高塚 太喜（諫早市） 特選

優秀「アサリ漁」 小山　保則（長崎市）

入選「山里の稲刈り」
中原　直樹（柳川市）

入選「タコ揚げ大会」
楠本　哲夫（大村市）

入選「バスをまつ子供ら」
問屋　藤男（久留米市）

入選「心の愛」
本多康一郎（国見町）

入選「菜の花満開」
楠本　邦博（大村市）

山茶花高原 フォトコンテスト Sazanka Photo Contest 2001

特選

「香りの館」

藤本　彰（佐世保市）

優秀

「秋たけなわ」
長浦　敏雄（佐世保市）

入選「初夏の山茶花道」永野　弘（愛野町）

入選「朝日がのぼる」中原　直樹（柳川市）

入選「花園」
津田　宏二（時津町）

入選「秋の写心」本多康一郎（国見町）

入選「夜に映える大橋」西村　誠一（諫早市）

山茶花高原
フォトコンテスト
Sazanka Photo Contest
2002

「さざんかの森」

特選 中原　直樹（柳川市）

優秀「早春のバス停」
永野　　弘（愛野町）

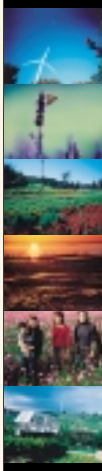
入選「いい顔して」山北　紘子（佐世保市）

入選「おいしそうなイチゴ」
小山　保則（長崎市）

入選「菜の花の咲く高原」
楠本　邦博（大村市）

入選「楽しい凧揚げ」
中村ひとみ（佐世保市）

入選「朝の漁場」藤岡　隆幸（諫早市）



山茶花高原 フォトコンテスト Sazanka Photo Contest 2003

特選「雪晴れの高原」
松本　誠（多良見町）

優秀「兄弟」
田端　和光（佐世保市）

入選「ジャパニーズ・チアガール」
小山　保則（長崎市）

入選「ハーブ咲く城」
中原　直樹（柳川市）

入選「潮干狩り（鬼の泣く浜）」
高塚　太喜（諫早市）

入選「高原を走るモノレール」手島　幸子（唐津市）

入選「バス待ち」
永目　　昇（諸富町）

小長井町賛歌

坂のまち、夢のまち

作詩◎島田陽子
作曲◎池田八声

一、たたずめば　有明の海が見え
歩けば　きらめく　海へ向かう
小長井は　坂のまち
石垣　美しい小径で
ひとは明るく　言葉をかわすよ
ああ　ふるさと　小長井
このまちで生まれ　このまちで生きる

二、高原に　山茶花の紅冴えて
おがたま　川辺に　白く咲くよ
小長井は　花のまち
みかんの　甘い香に　つつまれ
ひとは優しく　心をかよわす
ああ　ふるさと　小長井
このまちを愛し　このまちを歌う

三、太陽は　燃えながら　海を染め
不知火　あやしく　海を飾る
小長井は　夢のまち
みんなで　手をつなぎ　進めば
ひとは輝く　あしたに会えるよ
ああ　ふるさと　小長井
このまちを信じ　このまちで燃える

小長井音頭

作詩◎島田陽子
作曲◎池田八声

一、多良の山なみ　びょうぶに立てて
海へ扇を　ひらくまち
海は有明　不知火燃えて
ロマンあふれる　よいところ
ほんなこて　よかよか　小長井町は
沖の雲仙　見て暮らす

二、帆崎石の肌さえ　ほのかに染めて
海に真っ赤な　陽がのぼる
香りゆかしい　おがたまの木の
白い花にも　陽が映える
ほんなこて　よかよか　小長井町は
ひとのこころも　春の色

三、あさり　たいらぎ　シャッカの味に
忘れられない　むつごろう
夏はきんしゃい　カンテラゆれて
ビッシ取る浜　灯のまつり
ほんなこて　よかよか　小長井町は
海の恵みが　あふれてる

四、日本一なら　井崎の浮立
笛も見事な　まっこみよ
目島くんちで　にぎわう頃は
みかん娘も　お年頃
ほんなこて　よかよか　小長井町は
宝つたえて　花咲かす

五、眺めはるかな　山茶花高原で
描くみんなの　若い夢
牛が啼いてる　緑のまちは
寄せる笑顔で　伸びてゆく
ほんなこて　よかよか　小長井町は
明日へひらいた　舞扇

小長井町民憲章

私たちの小長井町は、美しい自然と豊かな人情と先人の偉業によって築かれてきました。
私たちは、この郷土を愛し限りない発展とさらに住みよい町づくりのために、
ここに町民憲章を定めます。

一、恵まれた自然を愛し、うるおいのあるまちをつくりましょう。
一、きまりを守り、健康で明るい清潔なまちをつくりましょう。
一、教養を高め、勤労に励み活力あるまちをつくりましょう。
一、健全な若い力を育て、ふれあいのあるまちをつくりましょう。
一、老人をうやまい、心豊かなあたたかいまちをつくりましょう。

写真提供者一覧〈アイウエオ順〉
―ご協力ありがとうございました―

池田榮二様
内田恒美様
小林美由紀様
小柳敏之様
田川大三良様
田崎保時様
谷口青治様
谷口増幸様
永渕高信様
原　一幸様
福田敦子様
前田晴幸様
馬渡廣雄様
森　アサノ様
山口　力様

小長井町閉町記念誌
小長井伝承

平成17年2月1日

発行●小長井町役場
長崎県北高来郡小長井町小川原浦名500
電話（0957）34－2111

編集●企画振興課

印刷●㈱昭和堂
長崎県諫早市長野町1007－2
電話（0957）代表22－6000

【町章】

町章は小長井を図案化したもので、頂点の「▲」は、小長井の地形を表し、これを中心として「長井」が、がっちりと組み合って一体融和を表現しています。

【町の花】山茶花（さざんか）

寒季に咲くこの可憐な花は、古くより人々の心をとらえてきました。私たちの祖先が親しんできたこの花が本町では山茶花の地名にもなり、岳の新太郎さんの歌にも唄われ、本町住民に最もなじみ深い花になっています。

【町の木】小長井のオガタマノキ（黄心樹）

モクレン科の常緑高木で、春先にやや紫色を帯びた白色の花をつけ、芳香を放つ古今伝授三木のひとつ。「小長井のオガタマノキ」は、樹齢1,000年以上、樹周９ｍの全国屈指の大木で国の天然記念物に指定されており、本町を代表する木として親しまれています。

表紙の上の写真は昭和17年（1942）７月、
村立小長井国民学校初等科６年男子

表紙の下の写真は平成16年（2004）10月、
小長井小学校６年のみなさん

長崎県小長井町

この記念誌は、voc（揮発性有機化合物成分）ゼロの100%大豆油と、古紙配合率100%再生紙を使用しています。